

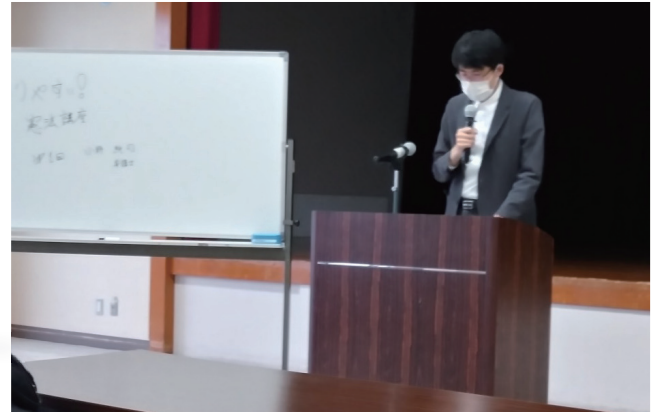
北九州市民の会ニュース

憲法連続講座 第1回

弁護士に聞いてみよう！憲法のハナシ

5月13日(土)、北九州憲法ネット主催の憲法連続講座第1回が開かれました。

講師は新進気鋭の小野純司弁護士(小倉南法律事務所所属)。「弁護士に聞いてみよう!憲法のハナシ」は、素晴らしかった。24枚のスライドを使って、やさしく、良くまとまった憲法のハナシだった。今後どのように進めていくか、多くの参加を期待して、みんなで決めていこうということになりました。第2回憲法連続講座に気軽にお集まりください。



第2回憲法連続講座

日時 7月22日(土) 13:30

場所 生涯学習総合センターA会議室

講師 小野純司弁護士

平和ネット19日行動×さよなら原発金曜行動

憲法改正必要ない、南西諸島を戦場にするな



JR小倉駅前で行なわれる宣伝行動の参加者

5月19日(金)18時から「平和ネット19日行動」と「さよなら原発金曜行動」が共に小倉駅前街宣をおこないました。30名余が集まり、交互にリレートークをしながら、スタンディング、署名活動、チラシ配りなどにぎやかに取り組みました。さよなら原発金曜行動は、515回を数えた。

平和ネット19日行動は、折尾駅でも同時刻に取り組

まれました。

平和ネットがチラシで訴えたことは、(1)緊急事態に備えるための憲法改正というけれど現行法で十分対応できるので憲法改正の必要はありませんということと、(2)自衛隊基地建設、超射程ミサイル配備計画で南西諸島を戦場にするな!ということ。最後は、全員で元よくシュプレヒコール。

笑顔と希望の北九州市をつくる会 第 7 回拡大幹事会開かれる

北九州市長選挙を総括し、解散

5 月 11 日(木)18 時 30 分から、戸畑生涯学習センターで、「笑顔と希望の会」が、第 7 回拡大幹事会を開きました。

河村代表委員による開会の挨拶の後、山内涼成市議団幹事長が、市政報告をしました。主要議題である「第 7 回幹事会への報告と提案」を石田代表委員が行いました。

原田財政担当委員から、供託金と選挙公費の負担を余儀なくされた財政事情とその措置について説明があり、

会計監査報告もなされました。

質疑・討論の末、政治確認団体「笑顔と希望の北九州市をつくる会」の解散が決定され、県選挙管理委員会に届け出をすることになりました。財政問題についても、「市民の会」が引き継ぎます。

「市民の会」は、第 33 回幹事会を 5 月 25 日(木) 18 時 30 分から戸畑生涯学習センターで開催します。

北九社保協通信

報告・資料集 2023 年 4 月号
4 月 28 日 事務局発行

北九州市保健課と生活保護行政について懇談会を実施

- 高い決定率に対し、以前として低い申請率は事前審査が問題と指摘。
- 扶養照会の様式見直しは一定の評価も更なる改善努力を要求。
- 積極的宣伝・広報は社会的嫌悪感払拭効果が不明と、考え方の相違で変更線。
- 今後予定の生活困窮者支援金は生保受給者に確実な支給を約束。
- 亡くなった後の保護費等は担当 CW との事前連絡、情報共有で解決を確認。

例年実施している市保健福祉局保護課との懇談会を、3月27日(月)に北九州市総合保健福祉センターにおいて実施しました。

毎年この自治体キャラバンの時期に改善項目を申し入れ、保護課の回答を受けて懇談をおこなっています。今回も昨年度同様、コロナ禍をうけて短時間・少人数での対応となったため、重点項目の「生活保護の宣伝・広報と扶養照会、医療機関に於ける金銭管理できない方への保護費支払いについて」を中心に実施し、社保協からは高木会長(弁護士)をはじめ12名が参加、市保護課からは保護係長ら3名が出席しました。

懇談では、まず北九州市の生活保護の状況について当局より資料をもとに説明をうけ、それに対し「申請率は 45% 台に対し決定率は 94% 台で推移しこの間、ほぼ変わらない低い申請率が問題である。申請率は低いのに決定率が高いと言うことは申請の段階であるにかける水際作戦(事前審査)が行われているのではないかと思えない」との厳しい意見が出されました。さらに、「14 日以内の保護決定率に関しては市内各行政区によって差異がある。厚労省基準に基づいて人員配置しているのなら、決定率の高い区の工夫など全区で共有すべきでは」との意見も出されました。積極的な広報については昨年の懇談会でポスター作成・掲示などすでに実施している自治体の事例も示し「手段の一つとし

て検討したい」との回答を得ていましたが、当局からは一定の議論も行ったが社会的嫌悪感を払拭する効果が不明。よって現時点では考えていない」との返答にポスター掲示のみならず、生活保護のチラシを全戸配布した「京丹後市」の資料も示しながら、あらためて北九州市での積極的な広報について意見交換を行いました。平行線をたどる結果となりました。扶養照会については懇談会の意見も反映され依頼文書も一定、改善されているものの新聞記事の「扶養照会は効果なし」の資料も紹介し、更なる扶養照会の見直し改善と柔軟な対応をお願いしました。さらに、医療機関の MSW から「金銭管理が出来ない保護受給者が亡くなった際のオムツ代等が未収金となっている」問題に関しては「当該者の担当 CW との事前情報共有で対応可能」との確認が出来ました。懇談会を通じ、より良い生活保護行政を目指すうえで、今後も行政との連携を密にし、双方で努力していく必要があると感じました。



どなたでも参加を歓迎! 公益社団法人福岡県自治体問題研究所 第46回総会記念シンポジウム

〈日 時〉6月3日(土) 開場・受付 13 時 開会 13 時半 閉会 15 時 50 分(のち総会議事)
〈参加費〉500 円(テキスト代・会場費)
〈会 場〉早良市民センター・第一会議室(地下鉄「藤崎駅」②番出口)

どこへ行く「JR九州」 ～より良い地域交通を願って

- ◎特別報告(ビデオと文書発言)
「西九州(長崎)新幹線問題と住民・自治体
・地域に基本的地域権を」
桑原允彦・元鹿島市長
(20 年間鹿島市長を務め、新幹線問題と対応)
 - ◎特別報告の概要紹介、この間の論点と成果、現状
杉谷雅博会員(嬉野市・民生委員)～進行役を兼務
 - ◎記念講演
「通学を支えるローカル線・清張鉄道を巡って」
赤塚隆二(元朝日新聞記者、鉄道問題研究者、
第 17 回松本清張研究奨励事業・受賞者)
 - ◎利用者の生の意見交換
 - ◎報告
「民主主義のインフラとしての交通問題
～より良い地域交通を願って」
遠藤雄二(九州大学で学生と教員 47 年間)
 - ◎まとめ 杉谷雅博(会員)
- *記念シンポは、翌日以降研究所のホームページ(ユーチューブ)で、公表します。

<主催>公益社団法人 福岡県自治体問題研究所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1 丁目 19-3-508
tel・fax 092-472-4675 jiti@ked.biglobe.ne.jp、
http://jitiken.jimdo.com

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000
fax 093-571-4346
http://siminnokai.sakura.ne.jp
e-mail:koe@siminnokai.com

